

取扱説明書

Bass Amplifier



KATANA-110 BASS

KATANA-210 BASS

KATANA-500 BASS HEAD



KATANA-110 BASS

KTN110B

最大出力 110W、

25cm (10 インチ) ウーファー、ツイーター搭載



KATANA-210 BASS

KTN210B

最大出力 300W、

25cm (10 インチ) ウーファー×2、ツイーター搭載



KATANA-500 BASS HEAD

KTN500B HD

最大出力 500W

本書は、KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS、
KATANA-500 BASS HEAD共通の取扱説明書です。

特定の機種の説明は、アイコン(例: **KTN210のみ**)で区別しています。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.3)をよくご覧ください。

お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2024 Roland Corporation

マークについて

本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れがあります。 キャビネットをあけないでください。	
注意： 感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。		

このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

	警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
	注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	⚠ は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、⚠ の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘ は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘ の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	● は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、● の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠ 警告

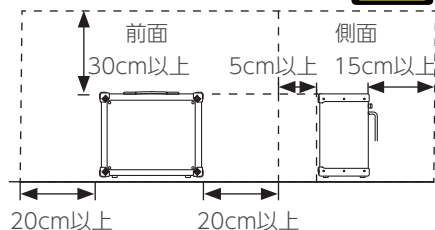
完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。



スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店または当社サポート窓口にご相談してください。



⚠ 警告

次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所



不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。



⚠ 警告

大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または当社サポート窓口へ修理を依頼してください。



- 電源コードが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様を使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。



タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。



海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店または当社サポート窓口にご相談してください。



電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（P.2）。



通気口を塞がない

新聞紙、テーブルクロス、またはカーテンなどで、本機の通気口を塞がないでください。



火の付いているものを置かない

本機の上に火の付いているもの（ローソクなど）を置かないでください。



注意

電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。



電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。



定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。



電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。



注意

上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。



注意

落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときは記憶内容の保存に細心の注意を払ってありますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、または当社サポート窓口にご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。

- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がからないように、音量に十分注意してください。

- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

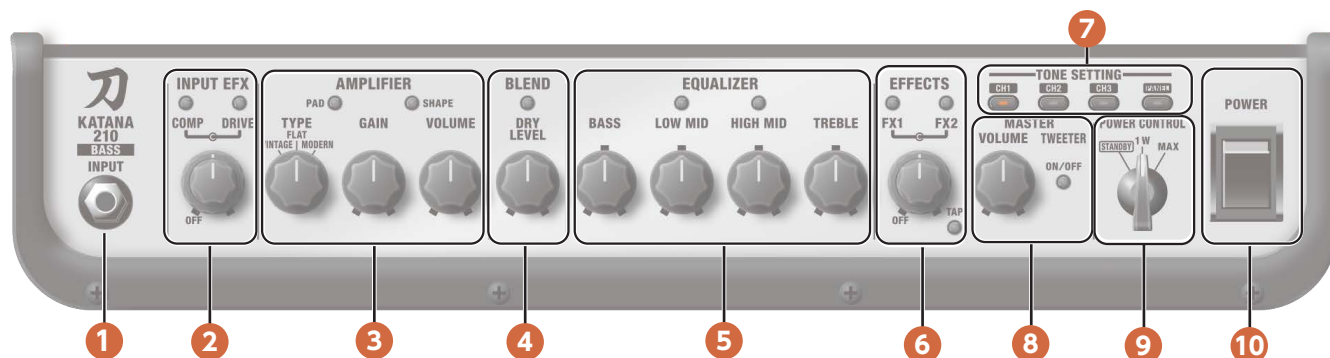
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Roland、BOSS、刀、KATANA は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル (KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS)



1 INPUT 端子

ベース・ギターを接続します。

2 INPUT EFX

入力部に搭載している内蔵エフェクトを設定します。各つまみで設定できるエフェクトの種類や設定方法は『エフェクトを使う』(P.14)をご覧ください。

[COMP] ボタン／つまみ

コンプやリミッター・エフェクトを設定します。

[DRIVE] ボタン／つまみ

歪み系エフェクトを設定します。

3 AMPLIFIER

[PAD] ボタン

オンにすると入力感度が低くなります (-10dB)。

出力の大きなベースまたは接続機器を使用時に、本機の入力部で歪みが発生したときにオンにします。通常はオフで使用することをおすすめします。

[TYPE] つまみ

ビンテージ、フラット、モダンの3種類からタイプを選びます。

[GAIN] つまみ

アンプの入力ゲインを調節します。クリーンなサウンドからオーバードライブ・サウンドまで幅広く設定することができます。

[VOLUME] つまみ

スピーカーやヘッドホンの音量を調節します。

[SHAPE] ボタン

アンプの音質に変化を加えます。ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。消灯時はオフです。

4 BLEND

[BLEND] ボタン

ドライ音をブレンドする周波数帯域を切り替えます。

ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。消灯時はオフです。

[DRY LEVEL] つまみ

ドライ音のレベルを調節します。

5 EQUALIZER

[BASS] つまみ

低音域の音量を調節します。

[LOW MID] ボタン

中低音域の周波数を切り替えます。

ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。

[LOW MID] つまみ

中低音域の音量を調節します。

[HIGH MID] ボタン

中高音域の周波数を切り替えます。

ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。

[HIGH MID] つまみ

中高音域の音量を調節します。

[TREBLE] つまみ

高音域の音量を調節します。

6 EFFECTS

内蔵エフェクトを設定します。各つまみで設定できるエフェクトの種類や設定方法は『エフェクトを使う』(P.14)をご覧ください。

[FX1] ボタン／つまみ

ワウ、トレモロ、オクターブなどのエフェクトを設定します。

[FX2] ボタン／つまみ

FX1に加えて、DELAYやREVERBのエフェクトを設定します。

[TAP] ボタン

ディレイ・タイムを設定します。2回以上押すと、ボタンを押した間隔がディレイ・タイムになります。

7 TONE SETTING

パネル上で設定した音色を記憶したり呼び出したりすることができます。

計 6 音色を記憶することができます。

BANK A	CH1、CH2、CH3
--------	-------------

BANK B	CH1、CH2、CH3
--------	-------------

メモ

BANK A、BANK B を切り替えるには、[CH1] ～ [CH3] のいずれかが選ばれている状態で、[PANEL] ボタンを約 1 秒間押します。

選ばれている [CH1] ～ [CH3] のボタンが点滅し、BANK A、BANK B が切り替わります。BANK B が選ばれているときは [PANEL] ボタンがゆっくり点滅します。



※ PANEL が選ばれているときは、BANK の切り替えはできません。

[CH 1] ～ [CH 3] ボタン

[CH 1] ～ [CH 3] ボタンには、トップ・パネルのすべてのつまみ ([MASTER VOLUME] つまみと [POWER CONTROL] スイッチを除く) やボタンの設定が記憶されます。ボタンを 1 秒間押し続けると、パネル上の設定が記憶されます。

※ 工場出荷時のセッティングに戻すときは [PANEL] ボタンを押しながら電源をオンにします。

[PANEL] ボタン

現在のつまみ位置の音を鳴らします。

8 MASTER

[VOLUME] つまみ

全体の音量を調節します。

[TWEETER] ボタン

ツイーターをオン／オフします。

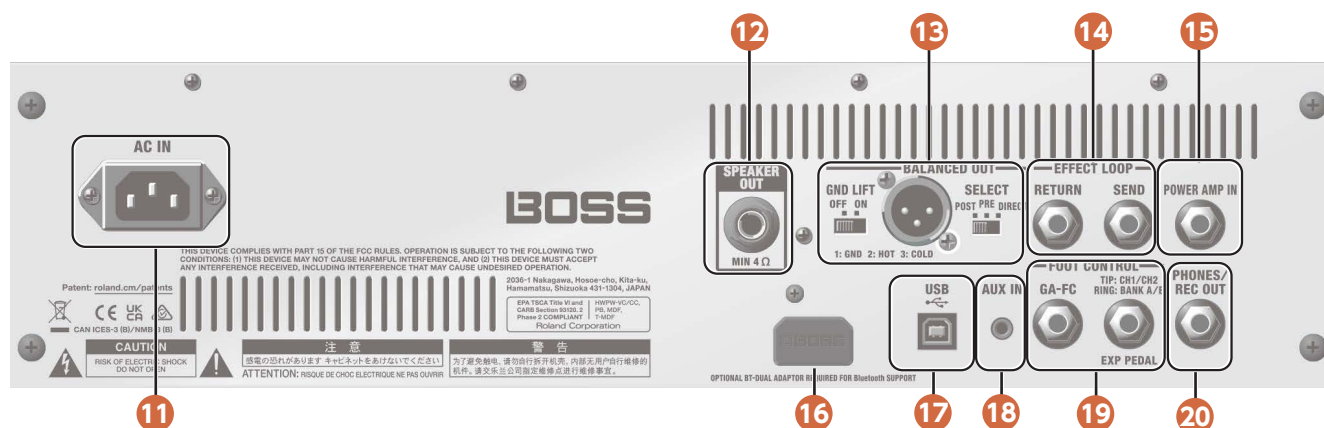
9 [POWER CONTROL] スイッチ

使う場所や用途に応じて、パワー・アンプの出力レベルを切り替えることができます。「STANDBY」に設定すると、電源を入れたまま音をミュートすることができます。ライブ演奏の合間など、ステージを離れたりするときに、ボリューム等の設定を変更せずミュートできます。

10 [POWER] スイッチ

本体の電源をオン／オフします。

リア・パネル (KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS)



11 AC IN 端子

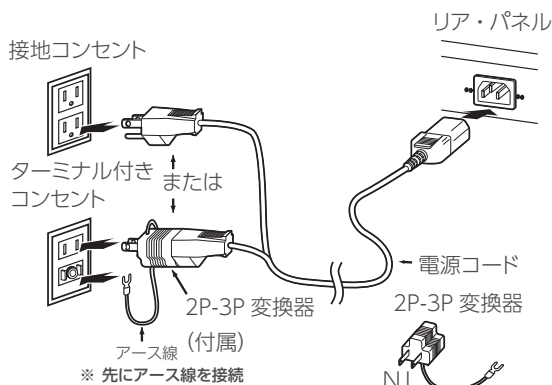
付属の電源コードを接続します。

※ 電源コードは必ず付属のものを使用してください。

電源コードの接続

感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。



- コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合
そのままコンセントにプラグを差し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付きコンセント（端子穴が 2 個）の場合
プラグに 2P-3P 変換器をつけ、アース接続後コンセントに差し込みます。

警告:

アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースをはずすときは必ず、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事に接地工事を依頼してください。

12 SPEAKER OUT 端子 (KATANA-210 BASSのみ)

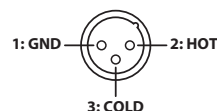
スピーカー・ボックスを接続します。接続には、必ずスピーカー・ケーブルをお使いください。ベース用のシールド・ケーブルは使わないでください。

- この端子にプラグを接続したときは、本体スピーカーからは音が出ません。
- 必ず入力インピーダンスが 4 Ω 以上のスピーカー・ボックスを使用してください。

13 BALANCED OUT 端子

外部 PA システムなどに接続します。

※ BALANCED OUT 端子のピン配置



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

[SELECT] スイッチ

DIRECT、PRE、POST の出力を選ぶことができます。

[GND LIFT] スイッチ

本機を外部機器と接続して使用すると「ブーン」というループ・ハム・ノイズが発生することがあります。その場合、[GND LIFT] スイッチを切り替えることで症状を軽減できることがあります。通常はオフに設定しておきます。

スイッチ 説明

スイッチ	説明
ON	BALANCED OUT 端子の 1 番ピンが本機の GND と切り離されます。
OFF	BALANCED OUT 端子の 1 番ピンが本機の GND と接続されます。

14 EFX LOOP SEND / RETURN 端子

外部エフェクターを接続します（モノ）。

SEND 端子に外部エフェクターのインプットを、RETURN 端子に外部エフェクターのアウトプットを接続します。

15 POWER AMP IN 端子

KATANA BASS のプリアンプを通さずに、パワー・アンプに直接信号を入力する端子です。外部のプリアンプや、アンプ・シミュレーター搭載のマルチ・エフェクターなどで作った音などを入力することができます。POWER AMP IN 端子を使用しているときは、[PANEL] ボタンが緑色に点灯します。

- ※ この端子に入力された音には、[MASTER] つまみ、[POWER CONTROL] スイッチ、[TWEETER] ボタン以外のつまみの操作は効きません。
- ※ POWER AMP IN 端子と、INPUT 端子は同時に使用できません。両方にケーブルが接続された場合は、INPUT 端子が優先されます。

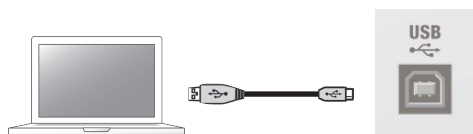
16 Bluetooth ADAPTOR 端子

Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (別売: BT-DUAL) を接続して、ワイヤレスでスマートフォン/タブレットなどのモバイル機器（以降、「モバイル機器」と表記します）の音楽を再生したり、モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットしたりすることができます (P.15)。

17 USB 端子

市販の USB 2.0 ケーブルを使って、本機の音をパソコンに録音することができます。また、専用ソフトウェアを使って、内蔵エフェクトの設定を変更することもできます (P.15)。

- ※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。



パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/support/>

18 AUX IN 端子

CD プレーヤーや、オーディオ・プレーヤー、電子楽器などを接続し、ベース・ギターと同時に鳴らすことができます。

19 FOOT CONTROL**GA-FC 端子**

GA-FC (別売) を接続して、チャンネルの切り替えやエフェクトのオン/オフなどができます。

SEL、CH1 CH2/EXP PEDAL 端子

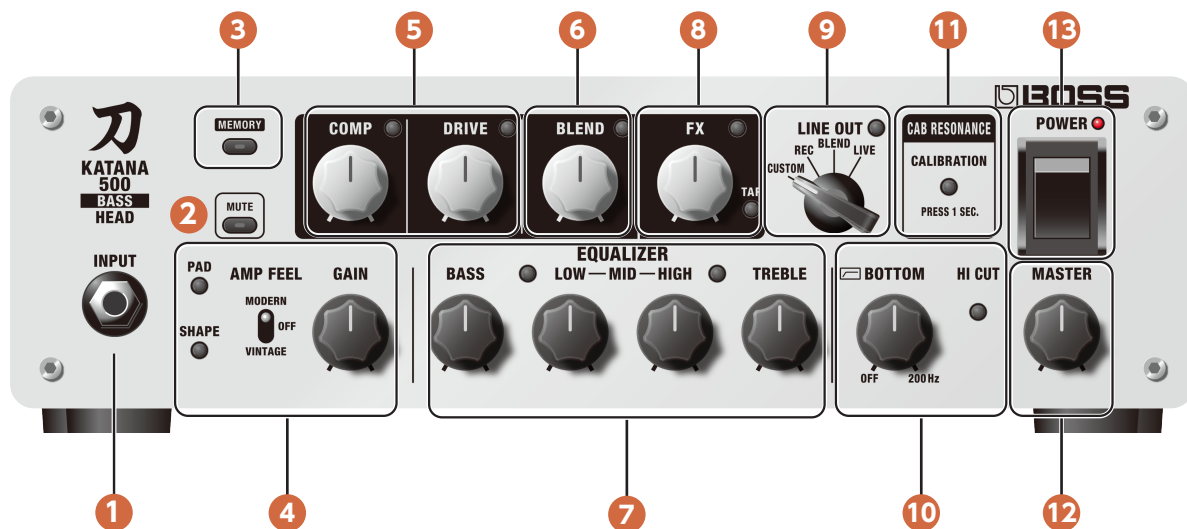
フットスイッチ (別売: FS-6、FS-7、または FS-5L) を接続すると、BANK A、BANK B の切り替えと、CH 1、CH 2 の切り替えが足元でできるようになります。また、エクスプレッション・ペダル (別売: Roland EV-5、BOSS EV-30、FV-500L、FV-500H) を接続すると音量を変化させることができます。

20 PHONES/REC OUT 端子

ヘッドホン接続します。スピーカーで鳴らしたような、迫力のあるベース・サウンドが得られます。音量は [VOLUME] つまみ、[MASTER] つまみで調節します。

- ※ この端子にプラグを接続したときは、本体スピーカーからは音が出ません。夜間など、スピーカーから大きな音が出せないときに便利です。

フロント・パネル (KATANA-500 BASS HEAD)



1 INPUT 端子

ベース・ギターを接続します。

2 [MUTE] ボタン

電源を入れたまま音をミュートすることができます。

ライブ演奏の合間など、ステージを離れたりするときに、ボリュームなどの設定を変えせずミュートできます。

3 [MEMORY] ボタン

設定した音色を記憶したり呼び出したりすることができます。

音色を記憶するときは、ボタンを 1 秒以上押し続けます。

メモリーボタンを 1 秒以上押すことで書き込みも可能です。記憶された音色を呼び出すときは、ボタンを短く押します。ボタンを押すたびに、記憶された音色と現在のつまみ位置の音色が切り替わります。記憶された音色が選ばれているときは、ボタンが赤に点灯します。

※ フット・コントローラ GA-FC、GA-FC EX を使うと、3 つのメモリー（赤、緑、オレンジ）を使用することができます。[MEMORY] ボタンを 1 秒以上押すことで書き込みも可能です。詳しくは『GA-FC / GA-FC EX の操作方法』(P.12) をご覧ください。

4 AMPLIFIER

[PAD] ボタン

オンにすると入力感度が低くなります (− 10dB)。

出力の大きなベースまたは接続機器を使用時に、本機の入力部で歪みが発生したときにオンにします。通常はオフで使用することをおすすめします。

[AMP FEEL] スイッチ

アンプのタイプを選びます。モダン、ビンテージの 2 種類のタイプを選ぶことができます。

[GAIN] つまみ

アンプの入力ゲインを調節します。

[SHAPE] ボタン

アンプの音質に変化を加えます。ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。消灯時はオフです。

5 INPUT EFX

入力部に搭載している内蔵エフェクトを設定します。各つまみで設定できるエフェクトの種類や設定方法は『エフェクトを使う』(P.14) をご覧ください。

[COMP] ボタン／つまみ

コンプやリミッター・エフェクトを設定します。

[DRIVE] ボタン／つまみ

歪み系エフェクトを設定します。

6 BLEND

[BLEND] ボタン

ドライ音をブレンドする周波数帯域を切り替えます。

ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。消灯時はオフです。

[BLEND] つまみ

ドライ音のレベルを調節します。

7 EQUALIZER

[BASS] つまみ

低音域の音量を調節します。

[LOW MID] ボタン

中低音域の周波数を切り替えます。

ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。

[LOW MID] つまみ

中低音域の音量を調節します。

[HIGH MID] ボタン

中高音域の周波数を切り替えます。

ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。

[HIGH MID] つまみ

中高音域の音量を調節します。

[TREBLE] つまみ

高音域の音量を調節します。

8 EFFECTS

内蔵エフェクトを設定します。各つまみで設定できるエフェクトの種類や設定方法は『エフェクトを使う』(P.14)をご覧ください。

[FX] ボタン／つまみ

モジュレーションやディレイのエフェクトを設定します。

[TAP] ボタン

ディレイ・タイムを設定します。2 回以上押すと、ボタンを押した間隔がディレイ・タイムになります。

9 LINE OUT

つまみ位置	説明
CUSTOM	専用ソフトウェア (P.15) で設定した設定を選んで使用することができます。つまみ上のボタン (CUSTOM ボタン) を押すごとに、3 つの設定を選ぶことができます (緑、赤、オレンジ)。 ※ CUSTOM ボタンは、つまみで CUSTOM を選んでいるときのみ動作します。
REC	レコーディング用のオフ・マイク・サウンドです。
LIVE	ライブ用のオン・マイク・サウンドです。
BLEND	ライブ／レコーディングに幅広く使える、オン・マイクとオフ・マイクをバランスよくブレンドしたサウンドです。

10 [BOTTOM] つまみ／[HI CUT] ボタン**[BOTTOM] つまみ**

カットする低域の周波数を設定します。左に回しきると低域のカットがオフになります。

[HI CUT] ボタン

高域をカットします。ボタンを押すごとにタイプが切り替わります (緑／赤／オレンジ)。消灯時はオフです。

11 CAB RESONANCE

外部スピーカーをよりよく鳴らすために、アンプの音調整をします。

ボタンを 1 秒以上押すと、赤点減して測定信号を出します。音調整が完了するとボタンが点灯します。2 種類の音調整をすることができます。

ボタンの点灯色	種類
緑	全体域を調整
オレンジ	低音域を調整

ボタンを押すごとに緑、オレンジ、消灯 (オフ) と切り替わります。この設定は電源を切っても記憶されます。

※ MUTE がオンになっているときや、[MASTER] つまみが [0] に設定されているとき、PHONES/REC OUT 端子を使用しているときは音調整ができません。

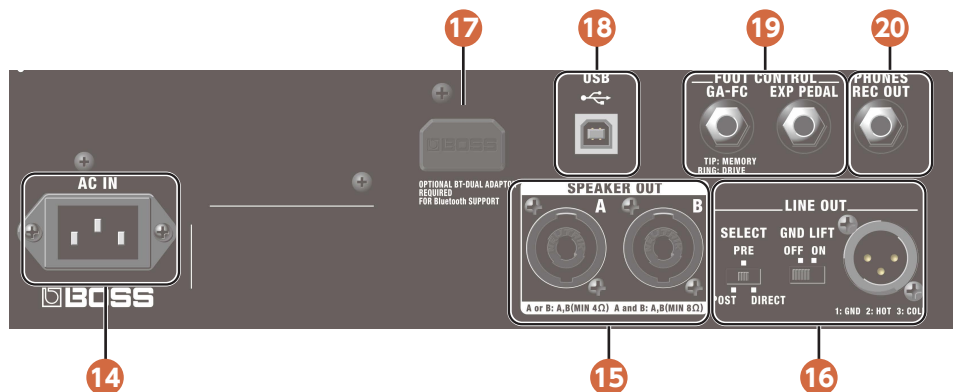
12 [MASTER] つまみ

全体の音量を調節します。

13 [POWER] スイッチ

本体の電源をオン／オフします。

リア・パネル (KATANA-500 BASS HEAD)



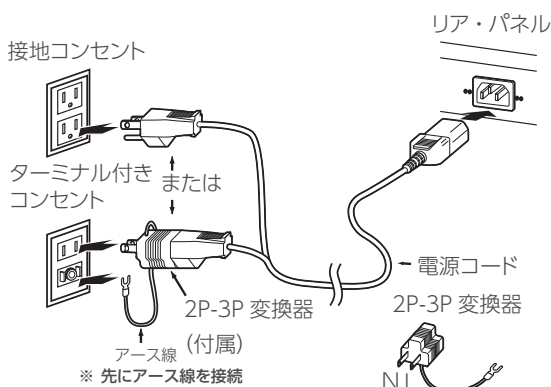
14 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

※ 電源コードは必ず付属のものを使用してください。

電源コードの接続

感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。
付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグがついています。



- コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合
そのままコンセントにプラグを差し込んでください。
- コンセントがアースターミナル付きコンセント（端子穴が 2 個）の場合
プラグに 2P-3P 変換器をつけ、アース接続後コンセントに差し込みます。

⚠ 警告:

アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースをはずすときは必ず、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

15 SPEAKER OUT (A / B) 端子

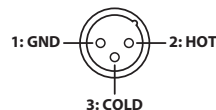
スピーカー・ボックスを接続します。接続には、必ずスピーカー・ケーブルをお使いください。ベース用のシールド・ケーブルは使わないでください。

- A 端子または B 端子から 1 台のスピーカー・ボックスを接続するときは、必ず入力インピーダンスが 4Ω 以上のスピーカー・ボックスを使用してください。
- A 端子と B 端子の両方にスピーカー・ボックスを接続するときは、必ず入力インピーダンスが 8Ω 以上のスピーカー・ボックスを使用してください。

16 LINE OUT 端子

外部 PA システムなどに接続します。

※ LINE OUT 端子のピン配置



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

[SELECT] スイッチ

DIRECT、PRE、POST の出力を選ぶことができます。

[GND LIFT] スイッチ

本機を外部機器と接続して使用すると「ブーン」というループ・ハム・ノイズが発生することがあります。その場合、[GND LIFT] スイッチを切り替えることで症状を軽減できることがあります。通常はオフに設定しておきます。

スイッチ 説明

スイッチ	説明
ON	BALANCED OUT 端子の 1 番ピンが本機の GND と切り離されます。
OFF	BALANCED OUT 端子の 1 番ピンが本機の GND と接続されます。

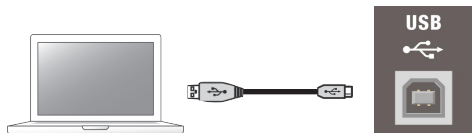
17 Bluetooth ADAPTOR 端子

Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor (別売: BT-DUAL) を接続して、ワイヤレスでスマートフォン／タブレットなどのモバイル機器（以降、「モバイル機器」と表記します）の音楽を再生したり、モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットしたりすることができます (P.15)。

18 USB 端子

市販の USB 2.0 ケーブルを使って、本機の音をパソコンに録音することができます。また、専用ソフトウェアを使って、内蔵エフェクトの設定を変更することもできます (P.15)。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。



パソコンに接続するには、USB ドライバーをインストールする必要があります。

USB ドライバーは、ボスのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/support/>

19 FOOT CONTROL**GA-FC 端子**

GA-FC (別売)、または GA-FC EX (別売) を接続して、チャンネルの切り替えやエフェクトのオン/オフなどができます。

また、フットスイッチ (別売: FS-6、FS-7、または FS-5L) を接続すると、パネル上で設定している音色とメモリーに記憶させた音色を切り替えたり、DRIVE のオン/オフを切り替えたりすることが足元でできるようになります。

EXP PEDAL 端子

エクスプレッション・ペダル (別売: Roland EV-5、BOSS EV-30、FV-500L、FV-500H) を接続すると音量を変化させることができます。

20 PHONES/REC OUT 端子

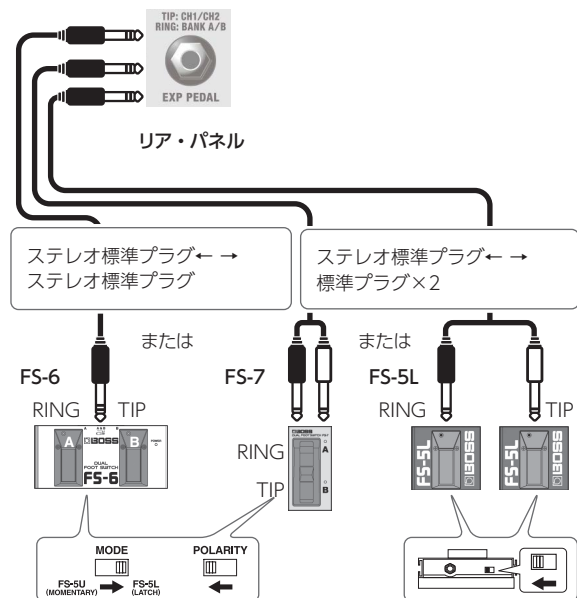
ヘッドホンを接続します。スピーカーで鳴らしたような、迫力のあるベース・サウンドが得られます。音量は [VOLUME] つまみ、[MASTER] つまみで調節します。

※ この端子にプラグを接続したときは、接続したスピーカーからは音が出ません。夜間など、スピーカーから大きな音が出せないときに便利です。

フットスイッチを接続する

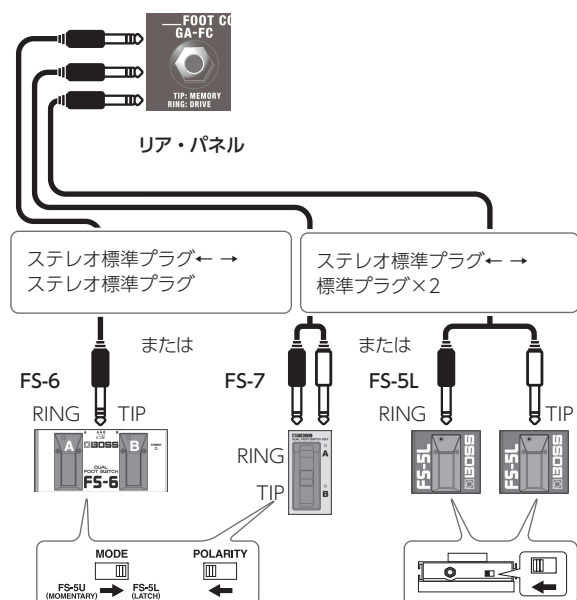
フットスイッチ（別売：FS-6、FS-7、または FS-5L）の接続

KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS



スイッチ	説明
TIP	CH1、CH2を切り替えます。
RING	BANK A、BANK Bを切り替えます。

KATANA-500 BASS HEAD



スイッチ	説明
TIP	パネル上で設定している音色とメモリーに記憶させた音色を切り替えます。
RING	DRIVE のオン／オフを切り替えます。

※ 本機はラッチ・タイプのフットスイッチ（FS-6、FS-7、FS-5L）に対応しています。FS-6、FS-7 使用時は A、B のモードを

FS-5L（LATCH）に設定してください。モーメンタリー・タイプのフットスイッチ（FS-5U 等）は使用できません。

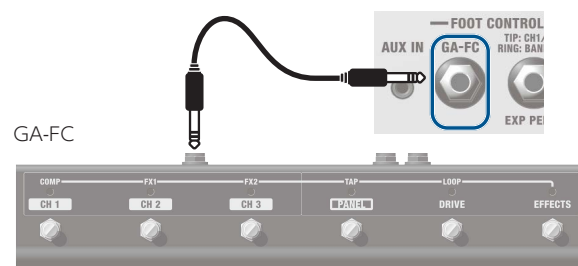
GA-FC / GA-FC EX の接続

GA-FC 端子にステレオ・ケーブルで接続します。

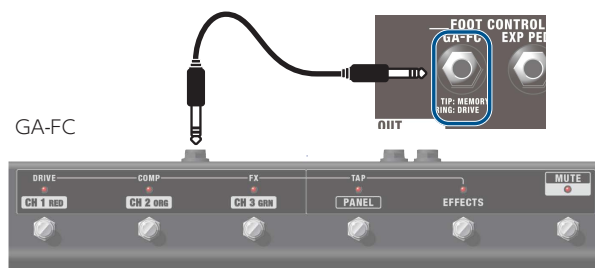
※ 必ずステレオ・ケーブルを使用してください。

※ 抵抗の入っていないケーブルを使用してください。

KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS



KATANA-500 BASS HEAD



GA-FC / GA-FC EX の操作方法

KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS

tone select (CH1 ~ CH3、PANEL)、DRIVE の切り替えができます。また、[EFFECTS] スイッチをオンにすると、EFFECTS (COMP、FX1、FX2、LOOP) のオン／オフの切り替えと、TAP（タイムのタップ入力）ができます。

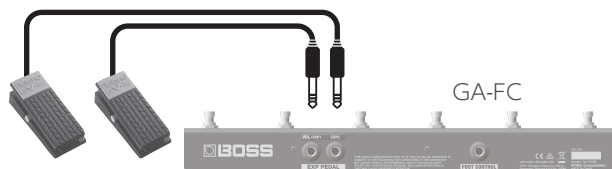
KATANA-500 BASS HEAD

パネル上で設定している音色とメモリーに記憶させた音色を切り替えたり、DRIVE のオン／オフを切り替えたりすることができます。専用ソフトウェア（P.15）を使うと、3 つの音色を記憶させることができます。記憶した音色は、GA-FC の CH 1、CH 2、CH 3 スイッチで呼び出すことができます。選んだチャンネルによって、本体の [MEMORY] ボタンの点灯色が変わります（CH1：赤、CH2：オレンジ、CH3：緑）。

エクスプレッション・ペダルを使う

エクスプレッション・ペダル（別売：Roland EV-5、BOSS EV-30、BOSS FV-500L、BOSS FV-500H）を接続すると、ペダルを使って音量を変化させたり、WAH などのエフェクトをコントロールしたりすることができます。

※ KATANA-500 BASS HEAD は音量のみコントロール可能。



エクスプレッション・ペダル

端子	説明
VOL/EXP1, EXP2	音量を調節したり、WAH などのエフェクトをコントロールしたりすることができます。 ※ KATANA-500 BASS HEAD は音量のみコントロール可能。

※ 専用ソフトウェア（P.15）を使って、VOLUME、EXP 端子に接続したエクスプレッション・ペダルに好みの機能を割り当てることができます。

エクスプレッション・ペダルの MINIMUM VOLUME を設定する

エクスプレッション・ペダルの [MINIMUM VOLUME] つまみで、ペダルを戻したときの値（最下限値）を設定することができます。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

[MINIMUM VOLUME]
つまみ



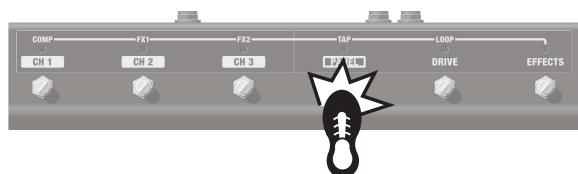
GA-FC で BANK を切り替える

KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASSのみ

[CH1] ～ [CH3] のいずれかが選ばれている状態で、[PANEL] スイッチを約 1 秒間押します。

選ばれているチャンネル [CH1] ～ [CH3] スイッチのインジケータが点滅し、BANK A、BANK B が切り替わります。

BANK B が選ばれているときは [PANEL] スイッチのインジケータがゆっくり点滅します。



※ PANEL が選ばれているときは、BANK の切り替えはできません。

電源を入れる／切る

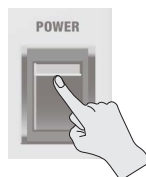
※ 正しく接続したら（P.4 ～ P.11）、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

1. 本機の [MASTER] つまみと、本機に接続されている機器の音量が、[0] になっていることを確認します。

※ 本機の INPUT 端子に接続するときは、[MASTER] つまみを最小（左いっぱい）にしてください。

2. 本機の電源を入れます。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。



3. BALANCED OUT 端子、PHONES/REC OUT 端子に接続されている機器の電源を入れます。

4. 各機器の音量を調節します。

電源を切るときは、接続している他の機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと反対の手順で電源を切ります。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは『完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く』（P.2）をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す

本体に記憶した設定を、工場出荷時の設定に戻します（ファクトリー・リセット）。

KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS

1. [PANEL] ボタンを押しながら電源を入れます。

SETTING の各ボタンが繰り返し点滅します。点滅が終了したら、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。



※ ファクトリー・リセットが完了するまで、約 30 秒かかります。ファクトリー・リセットの実行中は電源を切らないでください。

KATANA-500 BASS HEAD

1. [MEMORY] ボタンを押しながら電源を入れます。

[MEMORY] ボタンが点滅します。点滅が終了したら、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。



※ ファクトリー・リセットが完了するまで、約 30 秒かかります。ファクトリー・リセットの実行中は電源を切らないでください。

エフェクトを使う

工場出荷時に各つまみにアサインされているエフェクト

KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS

同時に 4 種類のエフェクトを使うことができます。

つまみ	ボタンの色	COMP	DRIVE
	緑	BANK A BOSS COMP	BOOSTER
	赤	BANK B LIGHT COMP	BASS OD
	赤	BANK A HI BAND COMP	HI BAND DRV
	オレンジ	BANK B MILD COMP	BASS DS
	オレンジ	BANK A BOSS LIMITER	BASS DI
	オレンジ	BANK B FAT COMP	BASS DRV

つまみ	ボタンの色	FX1	FX2
	緑	BANK A T.WAH	ANALOG DELAY
	赤	BANK B HEAVY OCTAVE	TAPE ECHO
	赤	BANK A CHORUS	DIGITAL DELAY
	オレンジ	BANK B PHASER	SDE3000
	オレンジ	BANK A ENHANCER	PLATE REVERB
	オレンジ	BANK B BASS SYNTH	HALL REVERB

1. バンクを選びます。

[CH1] ~ [CH3] のいずれかが選ばれている状態で、[PANEL] ボタンを約 1 秒間押します。

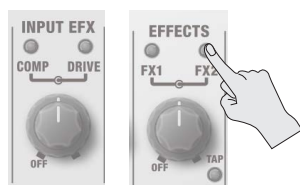
選ばれている [CH1] ~ [CH3] のボタンが点滅し、BANK A、BANK B が切り替わります。BANK B が選ばれているときは [PANEL] ボタンがゆっくり点滅します。



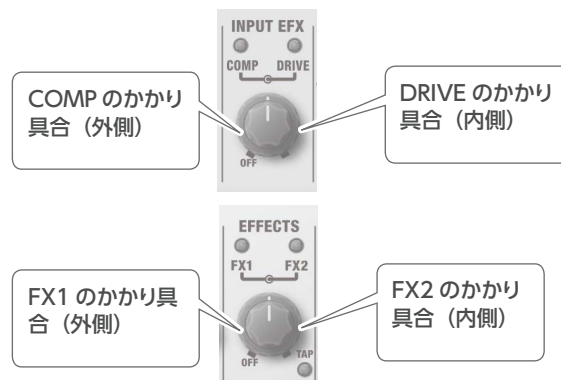
※ PANEL が選ばれているときは、BANK の切り替えはできません。

2. [COMP]、[DRIVE]、[FX1]、[FX2] ボタンを押して、使いたいエフェクトを選びます。

ボタンを押すたびに、ボタンの色が変わります。



3. つまみを回して、エフェクトのかかり具合を調節します。



KATANA-500 BASS HEAD

同時に 3 種類のエフェクトを使うことができます。

つまみ	ボタンの色	COMP
	緑	LIGHT COMP
	赤	BOSS COMP
	オレンジ	LIMITER

つまみ	ボタンの色	DRIVE
	緑	BASS OD
	赤	BASS DS
	オレンジ	BASS FUZZ

つまみ	ボタンの色	FX
	緑	CHORUS
	赤	T-WAH
	オレンジ	HEAVY OCTAVE

1. [COMP]、[DRIVE]、[FX] ボタンを押して、使いたいエフェクトを選びます。

ボタンを押すたびに、ボタンの色が変わります。



2. つまみを回して、エフェクトのかかり具合を調節します。

KATANA-110 BASS、 KATANA-210 BASS、 KATANA-500 BASS HEAD アンプ専用ソフトウェアを使う

USB 経由でパソコンと接続して、専用ソフトウェアを使用することができます。専用ソフトウェアでは以下のことができます。



- ダウンロード・サイト、BOSS TONE CENTRAL (<http://bosstonecentral.com/>) から、専用のエフェクトを簡単に本体にダウンロードできます。
- エフェクトの設定を編集できます。
- エフェクトと本体の設定をバックアップしたり、バックアップした設定を戻したりすることができます。

専用ソフトウェアは、BOSS TONE CENTRAL (<http://bosstonecentral.com/>) よりダウンロードすることができます。使いかたの詳細については、ダウンロードしたファイルにある Readme をご覧ください。

ワイヤレスでモバイル機器と接続する

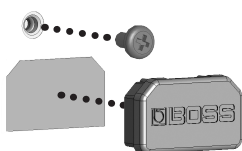
KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS、KATANA-500 BASS HEAD に別売りの BT-DUAL を取り付けることで、ワイヤレスでモバイル機器の音楽を再生したり、モバイル機器のアプリからエフェクトをエディットしたりすることができます。

※ KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS、KATANA-500 BASS HEAD 自体には、Bluetooth 機能は搭載されていません。別売りの BT-DUAL を取り付けることで、Bluetooth 機能を使用することができます。

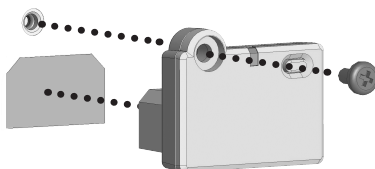
BT-DUAL を取り付ける

KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS、KATANA-500 BASS HEAD の Bluetooth ADAPTOR 端子に BT-DUAL を取り付けます。

1. お使いのベース・アンプ (KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS または KATANA-500 BASS HEAD) の電源を切って、AC コードをコンセントから抜きます。
2. リア・パネルの、Bluetooth ADAPTOR 端子のカバーとネジをはずします。



3. BT-DUAL を取り付け、手順 2 ではずしたネジで固定します。



注意

- 必ず Bluetooth ADAPTOR 端子にあるネジを使ってください。他のネジを使うと故障の原因になります。
- 回路部や端子部には手を触れないでください。
- 取り付けを終えたら、正しく取り付けられていることを再度確認してください。

モバイル機器とワイヤレスで接続して音を聞く

Bluetooth® オーディオ機能

Bluetooth オーディオ機能をもったモバイル機器で再生した音楽やミュージック・ビデオを、KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS のスピーカーや KATANA-500 BASS HEAD に接続した外部スピーカーで聞くことができます。

モバイル機器を登録する (ペアリング)

「ペアリング」とは、使いたいモバイル機器を KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS、KATANA-500 BASS HEAD に登録する (お互いに認証する) ための手続きです。

モバイル機器に保存している音楽データを、ワイヤレスで KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS、KATANA-500 BASS HEAD から再生するための設定をします。

メモ

以下の操作説明は一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. お使いのベース・アンプ (KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS または KATANA-500 BASS HEAD) の電源を入れます。
2. 接続したいモバイル機器をベース・アンプ周辺に置きます。
3. Bluetooth インジケーターが高速点滅するまで、BT-DUAL のペアリング・ボタンを長押しします。

Bluetoothインジケーター



4. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

5. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「KTN-BASS Audio」をタップします。

BT-DUAL とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストに「KTN-BASS Audio」が追加されます。

※ 一定時間ペアリングを実行しないと、Bluetooth インジケーターが消灯しペアリング待機状態が解除されます。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. BT-DUAL の Bluetooth インジケーターがオフのとき、ペアリング・ボタンを押します。
2. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



メモ

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「KTN-BASS Audio」をタップしてください。
- 切断するときは、BT-DUAL のペアリング・ボタンを押して Bluetooth インジケーターを消灯するか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

音量を調節する

1. モバイル機器で音量を調節します。
Bluetooth オーディオの音量を調節します。
2. KATANA-110 BASS、KATANA-210 BASS、KATANA-500 BASS HEAD の [MASTER VOLUME] つまみを回します。

[MASTER VOLUME] つまみは、Bluetooth オーディオ、USB 端子に接続している機器の音量、AUX IN 端子に接続しているモバイル機器の音量を兼用しています。[MASTER VOLUME] つまみを回すと、Bluetooth オーディオの音量が変わるだけでなく、各端子に接続している機器の音量も変わります。

Bluetooth 機能を無効にする

BT-DUAL とモバイル機器の Bluetooth 接続を切るとき、Bluetooth 機能を無効にします。

モバイル機器と Bluetooth 接続しないときは、電池での駆動時間を長持ちさせるため、Bluetooth 機能を無効にしておくことをおすすめします。

1. BT-DUAL のペアリング・ボタンを押します。

Bluetooth インジケーターは消灯します。

モバイル機器のアプリから操作する

アプリ BOSS TONE CENTRAL を使って、エフェクトをエディットしたり、本機の設定を保存したりすることができます。

BOSS TONE CENTRAL の詳細については、ボスのホームページをご覧ください。

<http://bosstonecentral.com/>

主な仕様

	KATANA-210 BASS	KATANA-110 BASS	KATANA-500 BASS HEAD
最大出力	300W	110W	500W (4 Ω) 250W (8 Ω)
規定入力レベル	INPUT: -10dBu (1M Ω) POWER AMP IN: -10dBu (20k Ω) AUX IN: -10dBu (20k Ω) RETURN IN: -10dBu (100k Ω)	INPUT: -10dBu (1M Ω) POWER AMP IN: -10dBu (20k Ω) AUX IN: -10dBu (20k Ω) RETURN IN: -10dBu (100k Ω)	INPUT: -10dBu (1M Ω) RETURN IN: -10dBu (100k Ω)
スピーカー	ウーファー: 25cm × 2 ツイーター: × 1	ウーファー: 25cm × 1 ツイーター: × 1	-
コントロール	POWER スイッチ MASTER VOLUME つまみ POWER CONTROL スイッチ (STANDBY, 1W, MAX) TWEETER ボタン < INPUT EFX > COMP ボタン DRIVE ボタン COMP つまみ DRIVE つまみ < AMPLIFIER > PAD ボタン SHAPE ボタン TYPE つまみ (VINTAGE, FLAT, MODERN) GAIN つまみ VOLUME つまみ < BLEND > BLEND ボタン DRY LEVEL つまみ < EQUALIZER > LOW MID ボタン HIGH MID ボタン BASS つまみ LOW MID つまみ HIGH MID つまみ TREBLE つまみ < EFFECTS > FX1 ボタン FX2 ボタン TAP ボタン FX1 つまみ FX2 つまみ < TONE SETTING > CH1 ボタン CH2 ボタン CH3 ボタン PANEL ボタン < BALANCED OUT > GND LIFT スイッチ (OFF, ON) SELECT (POST, PRE, DIRECT)	POWER スイッチ MASTER VOLUME つまみ POWER CONTROL スイッチ (STANDBY, 1W, MAX) TWEETER ボタン < INPUT EFX > COMP ボタン DRIVE ボタン COMP つまみ DRIVE つまみ < AMPLIFIER > PAD ボタン SHAPE ボタン TYPE つまみ (VINTAGE, FLAT, MODERN) GAIN つまみ VOLUME つまみ < BLEND > BLEND ボタン DRY LEVEL つまみ < EQUALIZER > LOW MID ボタン HIGH MID ボタン BASS つまみ LOW MID つまみ HIGH MID つまみ TREBLE つまみ < EFFECTS > FX1 ボタン FX2 ボタン TAP ボタン FX1 つまみ FX2 つまみ < TONE SETTING > CH1 ボタン CH2 ボタン CH3 ボタン PANEL ボタン < BALANCED OUT > GND LIFT スイッチ (OFF, ON) SELECT (POST, PRE, DIRECT)	MEMORY ボタン MUTE ボタン BOTTOM つまみ HI CUT ボタン MASTER VOLUME つまみ POWER スイッチ < AMPLIFIER > PAD ボタン SHAPE ボタン AMP FEEL スイッチ (VINTAGE, FLAT, MODERN) GAIN つまみ < INPUT EFX > COMP ボタン DRIVE ボタン COMP つまみ DRIVE つまみ < EFFECTS > BLEND ボタン FX ボタン TAP ボタン BLEND つまみ FX つまみ < EQUALIZER > LOW MID ボタン HIGH MID ボタン BASS つまみ LOW MID つまみ HIGH MID つまみ TREBLE つまみ < LINE OUT > LINE OUT ボタン LINE OUT つまみ (CUSTOM, REC, BLEND, LIVE) GND LIFT スイッチ (OFF, ON) SELECT スイッチ (POST, PRE, DIRECT) < CAB RESONANCE > CALIBRATION ボタン

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

	KATANA-210 BASS	KATANA-110 BASS	KATANA-500 BASS HEAD
インジケーター	COMP DRIVE PAD SHAPE BLEND LOW MID HIGH MID FX1 FX2 TAP CH1 CH2 CH3 PANEL TWEETER	COMP DRIVE PAD SHAPE BLEND LOW MID HIGH MID FX1 FX2 TAP CH1 CH2 CH3 PANEL TWEETER	PAD SHAPE MEMORY MUTE COMP BLEND FX TAP LOW MID HIGH MID LINE OUT CALIBRATION HI CUT POWER
接続端子	INPUT 端子：標準タイプ POWER AMP IN：標準タイプ BALANCED OUT 端子：XLR タイプ SEND 端子：標準タイプ RETURN 端子：標準タイプ SPEAKER OUT (MIN4 Ω) 端子：標準タイプ REC OUT/PHONES 端子：ステレオ標準タイプ EXP PEDAL/CTL CH1/CH2 端子：TRS 標準タイプ GA-FC 端子：TRS 標準タイプ AUX IN 端子：ステレオ・ミニ・タイプ USB 端子：USB B タイプ Bluetooth ADAPTOR SLOT：Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor AC IN 端子	INPUT 端子：標準タイプ POWER AMP IN：標準タイプ BALANCED OUT 端子：XLR タイプ SEND 端子：標準タイプ RETURN 端子：標準タイプ REC OUT/PHONES 端子：ステレオ標準タイプ EXP PEDAL/CTL CH1/CH2 端子：TRS 標準タイプ GA-FC 端子：TRS 標準タイプ AUX IN 端子：ステレオ・ミニ・タイプ USB 端子：USB B タイプ Bluetooth ADAPTOR SLOT：Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor AC IN 端子	INPUT 端子：標準タイプ LINE OUT 端子：XLR タイプ SPEAKER OUT (合計 MIN4 Ω) 端子 A/B：スピコン・タイプ PHONES/REC OUT 端子：ステレオ標準タイプ EXP PEDAL/ 端子：TRS 標準タイプ GA-FC/CTL CH1/CH2 端子：TRS 標準タイプ USB 端子：USB B タイプ Bluetooth ADAPTOR SLOT：Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor AC IN 端子
電源	AC100V (50 / 60Hz)	AC100V (50 / 60Hz)	AC100V (50 / 60Hz)
消費電力	117W	77W	500W
外形寸法 (ハンドル、ゴム足を含む)	490 (幅) × 360 (奥行) × 620 (高さ) mm	470 (幅) × 300 (奥行) × 500 (高さ) mm	298 (幅) × 212 (奥行) × 96 (高さ) mm
質量	21.8kg	16.8kg	2.8kg
付属品	取扱説明書 電源コード 2P-3P 変換器 保証書 GA-FC シール	取扱説明書 電源コード 2P-3P 変換器 保証書 GA-FC シール	取扱説明書 電源コード 2P-3P 変換器 保証書 GA-FC シール
別売品	フットスイッチ：FS-5L、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：Roland EV-5、EV-30、FV-500L、FV-500H GA FOOT CONTROLLER：GA-FC Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor：品番 BT-DUAL	フットスイッチ：FS-5L、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：Roland EV-5、EV-30、FV-500L、FV-500H GA FOOT CONTROLLER：GA-FC Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor：品番 BT-DUAL	フットスイッチ：FS-5L、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：Roland EV-5、EV-30、FV-500L、FV-500H GA FOOT CONTROLLER：GA-FC Bluetooth® Audio MIDI Dual Adaptor：品番 BT-DUAL

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品 (電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど)

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品 (ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など)

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support

